令和８年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

数学（第１学年）

【教科目標】

１　正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ２　数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いたり数量の関係や法則などを考察する力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。 ３　数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。

【学習計画】数学１

月	単元	小単元・項目 （題材、教材）	時数	主な達成目標 （各単元でつけてほしい力）	評価方法	評価場面
４ ５	１章 正の数と負の数	１　正の数・負の数 ２　加法と減法 ３　乗法と除法 ４　いろいろな計算	28	・負の数の意味を理解し、負の数を数直線上に表すことができるようになる。 ・数の大小関係を理解し、不等号を使って表すことができるようになる。 ・正の数と負の数の加法と減法ができるようになる。 ・項の意味を理解し、項の考えにもとづく計算ができるようになる。 ・正の数と負の数の乗法と除法ができるようになる。 ・除法を乗法に直して計算できることを理解し、乗法と除法の混じった計算ができるようになる。 ・四則の混じった計算ができるようになる。 ・数の集合を理解し、負の数の計算ができるようになったことの価値を感じることができるようになる。 ・自然数を素因数分解することが	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 １学期期末考査 など

令和８年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

月	単元	小単元・項目 （題材、教材）	時数	主な達成目標 （各単元でつけてほしい力）	評価方法	評価場面
				できるようになる。 ・具体的な場面に負の数を利用して考えることができるようになる。		
		問題Ａ、問題Ｂ				
５ ６	２章 文字と式	１　文字と式 ２　文字式の計算 ３　文字式の利用 問題Ａ、問題Ｂ	22	・文字式の積、商の表し方を理解し、きまりにしたがって表すことができるようになる。 ・具体的な数量を、文字式で表すことができるようになる。 ・文字に数を代入する方法を理解し、文字式の値を求めることができるようになる。 ・１次式の加法と減法の計算方法を理解し、その計算をすることができるようになる。 ・１次式と数の乗法と除法の計算方法を理解し、その計算をすることができるようになる。 ・文字式で表された数量の意味を読み取ることができるようになる。 ・数量の相等関係や大小関係を等式や不等式で表したり、等式や不等式からその意味を読み取ることができるようになる。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 ２学期中間考査 ２学期期末考査 など
６ ７ ９	３章 １次方程式	１　１次方程式 ２　一次方程式の利用	17	・方程式と方程式の解の意味を理解する。 ・等式の性質を理解し、それを利用して方程式を解くことができるようになる。 ・移項して方程式を解くことができるようになる。 ・比例式の意味と比例式の性質を理解し、比例式を満たす x の値を求めることができるようになる。 ・方程式を利用して問題を解決する手順を理解し、具体的な問題を解決することができるようになる。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 ３学期学年末考査 など

月	単元	小単元・項目 （題材、教材）	時数	主な達成目標 （各単元でつけてほしい力）	評価方法	評価場面
		問題Ａ、問題Ｂ		・方程式を解いて求めた解が適切なものであるかどうかを確かめることができるようになる。		
９ 10	４章 比例と 反比例	１　比例 ２　反比例 ３　比例と反比例の利用 問題Ａ、問題Ｂ	22	・関数関係について理解し、ともなって変わる２つの数量を関数としてとらえることができるようになる。 ・比例の変化と対応のようすを、式や表を用いてとらえることができるようになる。 ・負の数まで拡張した座標平面を理解し、点の位置を読み取ったり、点を座標として表したりすることができるようになる。 ・比例のグラフの特徴を理解し、比例の式をグラフに表すことができるようになる。 ・反比例の変化と対応のようすを式や表を用いてとらえることができるようになる。 ・反比例のグラフの特徴を理解し、反比例の式をグラフに表すことができるようになる。 ・比例や反比例を利用して、具体的な問題を解決することができるようになる。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 ３学期学年末考査 など
月	単元	小単元・項目 （題材、教材）	時数	主な達成目標 （各単元でつけてほしい力）	評価方法	評価場面
11 12	５章 平面図形	１　平面図形 ２　作図	17	・平行移動、回転移動、対称移動の意味を理解し、それらを使って図形を移動させることができるようになる。 ・平行移動、回転移動、対称移動について、移動前と移動後の図形の関係を理解する。 ・垂直二等分線、角の二等分線、垂線を作図することができるようになる。 ・垂直二等分線、角の二等分線、垂線を作図することができる根	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 １学期期末考査 ２学期中間考査 など

令和８年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

月	単元	小単元・項目 （題材、教材）	時数	主な達成目標 （各単元でつけてほしい力）	評価方法	評価場面
		３　円 問題Ａ、問題Ｂ		拠を理解する。 ・ 円や円の接線に関する性質を理解する。		
12 1 2	６章 空間図形	１　空間図形 ２　立体の体積と表面積 問題Ａ、問題Ｂ	21	・ いろいろな立体の特徴を理解する。 ・ 空間における直線や平面の位置関係を理解する。 ・ 立体を平面図形の運動によって構成されたものとしてとらえたり、投影図として平面上に表したりすることができるようになる。 ・ おうぎ形の弧の長さと面積の求め方を理解し、それらを求めることができるようになる。 ・ 立体の体積や表面積の求め方を理解し、それらを求めることができるようになる。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 ２学期期末考査 ３学期学年末考査 など
3	７章 データの活用	１　データの整理とその活用 ２　確率 問題Ａ、問題Ｂ	13	・ データを表やグラフに整理し、分布の傾向を読み取ることができるようになる。 ・ 相対度数の意味を理解する。 ・ 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト	授業 提出物 など
合計時数【140】						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	定期考査、小テスト
思考・判断・表現	定期考査、小テスト
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み方、提出物

令和８年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

数学（第２学年）

【教科目標】

１　文字を用いた式と連立２元１次方程式，平面図形と数学的な推論，１次関数，データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を抽象化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする． ２　文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力，数学的な推論の過程に着目し，図形の性質や関係を論理的に考察する力，複数の集団のデータの分布に着目し，その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり，不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う． ３　数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を養う．

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 （題材、教材）	時数	主な達成目標 （各単元でつけてほしい力）	評価方法	評価場面
４ ５	１章 式の計算	１　式の計算 ２　文字式の利用 章の問題	16	・簡単な多項式の加法，減法及び多項式と数や単項式同士の乗法，除法の計算ができる。 ・文字式を利用して数量の関係や数の性質を説明することができる。 ・目的に応じて，等式を変形することができる。	授業の様子 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 １学期期末考査 など
６ ７	２章 連立方程式	１　連立方程式とその解き方 ２　連立方程式の利用 章の問題	17	・二元一次方程式とその解の意味及び連立方程式とその解の意味を理解する。 ・　加減法や代入法によって，連立方程式を解くことができる。 ・連立方程式を利用して問題を解決することができる。	授業の様子 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 １学期期末考査 ２学期中間考査 など
９ 10	３章 １次関数	１　１次関数 ２　一次関数の性質と調べ方 ３　２元１次方程式と１次関数 ４　１次関数の利用 章の問題	19	・一次関数の意味を理解し，事象の中から一次関数を見いだすことができる。 ・一次関数について，表，式，グラフを相互に関連づけて理解する。 ・二元一次方程式のグラフ及び連立方程式の解とグラフの関係を理解する。 ・一次関数を用いて問題を解決することができる。	授業の様子 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 ２学期中間考査 など

令和８年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

月	単元	小単元・項目 （題材、教材）	時数	主な達成目標 （各単元でつけてほしい力）	評価方法	評価場面
10 11	４章 図形の調べ方	１　説明のしくみ ２　平行線と角 ３　合同な図形 章の問題	20	・三角形の内角・外角の性質を理解し，多角形の内角･外角の和を求めることができる。 ・対頂角の性質や平行線と角の関係を理解する。 ・三角形の合同条件を理解し，簡単な図形の性質を証明することができる。	授業の様子 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 ２学期期末考査 など
12 1 2	５章 三角形と四角形	１　三角形 ２　平行四辺形 章の問題	20	・二等辺三角形の性質を証明することができる。 ・直角三角形の合同条件を導き，それを使って証明することができる。 ・平行四辺形の性質や条件を理解し，それを使って図形の性質を証明することができる。 ・平行線と面積の関係を理解する。	授業の様子 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 ３学期学年末考査 など
2 3	６章 確率	１　確率 ２　確率による説明 章の問題	6	・同様に確からしいことをもとにして，簡単な場合について確率を求めることができる。 ・樹形図や表を利用して様々な場合の確率を求めることができる	授業の様子 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物
3	７章 データの比較	１　四分位範囲と箱ひげ図 章末問題	7	・四分位数と四分位範囲について理解し、四分位範囲とちらばりの関係を見いだすことができる ・箱ひげ図のつくり方と見方を理解し、ちらばりやヒストグラムとの関係を見いだすことができる ・箱ひげ図を用いてデータの傾向を考えることができる。	授業の様子 提出物 小テスト	授業 提出物
合計時数【105】 ※　生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

令和８年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	定期考査，小テスト
思考・判断・表現	定期考査，小テスト
主体的に学習に取り組む態度	授業の様子，提出物

令和８年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

数学（第３学年）

【教科目標】

１　数の平方根，多項式と二次方程式，図形の相似，円周角と中心角の関係，三平方の定理，関数 $y=ax^2$，標本調査などについての基礎的な概念や原理･法則などを理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現･処理したりする技能を身につけるようにする。 ２　数の範囲に着目し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，その特徴を表，式，グラフを相互に関連づけて考察する力，標本と母集団の関係に着目し，母集団の傾向を推定し判断したり，調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。 ３　数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価･改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を養う。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 （題材、教材）	時数	主な達成目標 （各単元でつけてほしい力）	評価方法	評価場面
4 5	１章 多項式	１　多項式の計算 ２　因数分解 ３　式の計算の利用 章末	21	・単項式と多項式の計算，多項式どうしの計算ができる。 ・目的に応じて式を操作する技能を高める。	授業への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 １学期 期末考査 など
6	２章 平方根	１　平方根 ２　根号をふくむ式の計算 ３　平方根の利用 章末	17	・平方根の必要性を認識させる。 ・分数で表すことができない数である無理数の存在を意識させる。 ・平方根の混じった四則計算の技能を習得させる。	授業への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 １学期 期末考査 など
7 9	３章 ２次方程式	１　２次方程式とその解き方 ２　２次方程式の利用 章末	15	・２次式で表される方程式があることを知り，答を求める方法を考察させる。 ・具体的な場面で２次方程式を利用して問題を解決できる。	授業への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 ２学期 中間考査 など
10	４章 関数 $y=ax^2$	１　関数 $y=ax^2$ ２　関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方 ３　いろいろな関数の利用 章末	16	・表，式，グラフを相互に関連づけながら変化と対応をとらえさせる。 ・関数の概念をさらに深めさせる。	授業への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 ２学期 期末考査 など

令和８年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

月	単元	小単元・項目 （題材、教材）	時数	主な達成目標 （各単元でつけてほしい力）	評価方法	評価場面
11	５章 相似な図形	1　相似な図形 2　平行線と比 3　相似な図形の面積と体積 章末	24	・相似の性質を利用して長さや角度を求められる。 ・相似の概念を空間図形にも拡張し，それをもとに立体の辺の長さ，表面積や体積を考察させる。	課題への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 ２学期期末考査など
12	６章 円	1　円周角の定理 2　円周角の定理の利用 章末	13	・円周角と中心角の関係を見いだして理解し，それを用いて考察することができる。 ・円周角の定理を理解し，具体的な場面で活用することができる。	課題への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 ３学期学年末考査など
1	７章 三平方の定理	1　三平方の定理 2　三平方の定理の利用 章末	16	・三平方の定理を知り，直角三角形の辺の長さを求められる。 ・空間図形でも三平方の定理を活用することができる。	課題への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 ３学期学年末考査など
	８章 標本調査	1　標本調査 章末	6	・全数調査と標本調査の使い分けや偏りのない標本の選び方を理解させる。 ・適切なデータの扱い方と処理方法の初歩を身につけさせる。	課題への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 ３学期学年末考査など
2 3		３年間の復習 上級学校への接続	12	・総合問題演習を通じて３年間の学習内容を復習させる。 ・上級学校の学習内容に触れさせる。	課題への取組 提出物	授業 提出物など

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	定期考査，小テスト
思考・判断・表現	定期考査，小テスト
主体的に学習に取り組む態度	授業の様子，提出物、定期考査への取組と振り返り